



同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316
☎048-977-5441 FAX048-977-2031
URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

令和5年度を迎えて

校長 尾花 信行



同窓生の皆さん、お元気で過ごされていますか。

この春、本校は、高校9クラス×3学年、中学5クラス×3学年で、変わらずの獨協埼玉らしさいっぱいです。

スタートしました。そして入学から卒業までの3年間、常にコロナの制約の中で過ごした生徒たちが卒業し、同窓会のメンバーとなりました。本来の学校生活を体験して貰うことができなかったのは残念ですが、獨協埼玉との繋がりはこれからもまだまだ続きます。皆さんの心の故郷として、折に触れ思い出し、訪ねてきてください。

昨年度を最後に家庭科の藤川先生がご退職されました。藤川先生は、その授業の中で日常生活に役立つ様々

な知識を伝えるとともに、合宿やその他のいろいろな場面で生徒や教職員に食を提供してきてくださいました。大きな震災で帰宅できずに校内で一晩を明かした生徒たちに大量のおにぎりを作って提供していただいたこともありました。私自身にとっては、ほぼ同じ時期に入職し40年弱にわたって共にやってきた仲間が去っていくのは寂しい限りですが、これから素敵な第二の人生を送られる様子が目に浮かぶようです。

さて、本年度になって、学校生活はコロナ以前に限りなく近付きつつあります。先日も高校体育祭を実施しましたが、マスクなしの笑顔が校庭いっぱい咲く素晴らしい1日となりました。皆さんに学校を訪れてもらうこともできるようになりました。ホームカミングデーやまほろばの会など同窓生を対象とした行事もそれぞれ開催される予定です。忙しい毎日の中での息抜き場としてぜひご参加ください。

見渡せば明るいニュースばかりではない世界の状況ですが、同窓生の皆さんが獨玉魂を胸にそれぞれ活躍されることを願っています。

コミュニティ

同窓会長 玉山 栄一



同窓会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日頃より本会活動へのご理解、ご協力誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症も漸く収束へと向かいつつも、

総会は四年連続のオンラインでの開催となり、また皆さまとお目にかかることができず、残念でなりません。

移り気な世の中、百花繚乱の中、どのように生きていくか、それはどのコミュニティに属しているかが重要になってきます。コミュニティは、人と人の結びつきでできあがります。今、同窓生は様々な分野で活躍なさっており、獨協埼玉コミュニティはこれからも広

がりを見せていくことでしょう。皆さまがそれぞれにこのコミュニティを上手に利用していただけるよう、同窓会としてもバックアップしていく所存です。また、この「人」という財産を大切に作る皆さままであってください。そうすれば自ずとコミュニティの活用が促進されることでしょう。

そんな中でも、人間悩むときもあるでしょう。悩むというのは、前進したいという思いがあって、それを越えられる可能性のある人にしか訪れません。悩むとは、飛躍の前触れだとポジティブにとらえましょう。これからは是非、獨協埼玉卒業生の底力で、輝いてくれることを祈念しています。

同窓会の発足から25年が経過します。そして一期生の私たちは、いよいよ選暦を迎える節目の年になり、組織としても新たなフェーズに入るべく、準備にかかりました。今後とも同窓会活動に一層のご協力賜りたく、お願い申し上げます。

退職にあたって

●藤川 淑子(青山 淑子) 先生



獨協埼玉中学高等学校の卒業生の皆様 教職員の皆様へ

こんにちは。お久しぶりです。私は令和5年3月をもって本校を退職させて頂きました。この度は同窓会報に寄稿の機会を頂きまして厚く御礼を申し上げます。私は38年間本校に勤務させて頂きました。在職中にはさまざまな方々にお世話になりました。改めて御礼を申し上げます。

私は子どもの時から先生になりたくて、物作りが大好きで教員を務めて参りました。「家庭生活を良いものに」が私のライフワークです。男女共修の家庭科が始まってからは益々

張り合いがありました。かつて家庭科は調理や裁縫のイメージが大きかったのですが、今は当たり前となった男女共同参画社会実現のための教科となりました。また私は世界中で注目を浴びているダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包括)を生徒の皆さんに伝えて行くことも目指しました。家庭科の学びが将来のみなさんが職場や家庭、地域で個々人の力を発揮する事の背中を押し、組織のパフォーマンスを向上させるために重要な役割を果たすものと信じています。

卒業生のみなさんにお会いすると「家庭科は高校の時には関心が無かった。大学で授業で再び出会って再認識できた。」「家庭を持ってから役立った。」などの言葉をもらうととても嬉しく思います。

卒業生の皆様の近況やご活躍を耳にするととても嬉しく思います。卒業生が親になりそのお子様がまた入学されて懐かしいやら嬉しいやらです。卒業生の皆様が多く訪ねてください皆様の笑顔に嬉しくお会い出来ますのが本校です。

私の口癖は「なりたい自分になろう」「出来ないは出来る前の状況」でした。今こそ、この言葉を自分に向けて発します。人生100年!?次はどんな自分になろうかと計画しています。

獨協埼玉中学高等学校の益々のご発展、同窓会の皆様のご多幸ご活躍を心より祈念致します。皆様にまたお会いするのを楽しみにしております。

部活動紹介



茶道同好会は現在、高校生13名、中学生16名の総勢29名で活動しています。裏千家の師範である清水芙美子先生に来ていただき、和気あいあいとお稽古をしています。顧問は長いこと国語科の百合ママこと百合久子先生が担当されていましたが、定年退職をされ、その後英語科の佐藤恭子先生が顧問として入り、その後2015年から現顧問が引き継いでいます。

例年文化祭ではお茶会を開催し、毎回予約がいっぱいになる

ほど大盛況でしたが、2020年、2021年は新型コロナウイルスの影響で開催できず、お茶会のノウハウが途絶える危機を迎え、また日々のお稽古も飲食禁止のお稽古となり、部員たちもつらい状況となりました。その後コロナが落ち着き、昨年度は家族の方のみの限定公開でしたが、お茶会が開催できたことで、3年生は初めてのお茶会でのお点前、2年生以下も初めての半東やお運びをして発表の場ができたことで活気が戻ってきました。令和の中高生も「ことば」を胸に、茶道を楽しんでいます。

今年是一般公開の予定ですので、OBOGの方にはぜひ足を運んでいただいで懐かしい和室でお茶とお菓子を召し上がっていただければと思います。

顧問 小田 恵子

ことば
私は茶道の真の相を学び、それを実践にうつして、たえず己れの心をかえりみて、一盤を手にしては多くの恩愛に感謝をさげ、お互いに人々によって生かされていることを知る茶道のよさをみんなに伝えるよう努力しよう。

一、他人を愛などすることなく、
一、いつも思いやりが先にたつように
一、家元は親、同門は兄弟で、共に一体であるから、誰にあっても合掌する心を忘れぬように
一、道を修めなお励みつも、
一、初心を忘れぬように
一、豊かな心で、人々に交わり、
世の中が明るく暮らせるように



2023年度 体育祭

創

今年の体育祭は4年ぶりに来場者の人数制限なしでの開催となりました。また、団体種目が復活し、コロナ前の大縄、むかで競争、といった全員参加種目を行うことができました。今年も3年生実行委員の生徒たちが中心となり、運動が得意な子も、不得意な子もみんなが楽しかったと思ってもらえる体育祭を目指し、準備を進めてきました。3月下旬から約2か月間、放課後の時間を使って、種目エントリーの人数調整や台帳作成、学年練習の打ち合わせなど、部活動の最後の大会を控えた中でよく頑張ってくれました。私一人ではここまでことはできなかつたと思います。本当に感謝しています。体育祭当日は、非常に暑く熱中症の心配がありましたが、大事に至ることはなく、競技を全て行うことができました。どの生徒も授業以上の力を発揮し、クラスのために一生懸命に取り組む姿にとても感動しました。保護者の方々には、普段見せることのできなかつた、生徒たちの生き生きとした姿を見ていただくことができ、大変嬉しく思っています。無事に体育祭を開催することができたのは、生徒や教職員、PTAの方々にご協力いただいたおかげです。獨協埼玉の伝統ある体育祭が、途切れず受け継がれていくことを願うとともに、関わっていただいた皆さんに感謝いたします。本当にありがとうございました。

体育祭担当 鈴木 大州

体育祭を振り返って

毎年体育祭の本部Tシャツは漢字一文字のデザインです。今年の漢字は「創」でした。創は、学年種目が新しく増え、コロナ前の元の形に戻りつつあった体育祭を全員で「創る」という想いを込めて選びました。

体育祭が始まるまでいろいろな問題や不安があり、体育祭が終わるまでずっと緊張していました。しかし、私たち全員で創った今年の体育祭は最高なものになりました。それは、生徒をはじめ、先生方、獨協埼玉高校に関わる全ての方々の協力があつたからです。皆さんと一緒に第43回体育祭を創ることができて本当によかったです。ありがとうございました。これからの体育祭は制限が少なくなり、よりクラスが団結し、絆が深められる体育祭になると思います。

これからもいろいろな変化に対応しながら、新たな最高の体育祭創りを繋げていってほしいです。本当にありがとうございました。

高校3年3組 体育祭実行委員長 石黒 日菜



第43回 蛙鳴祭

9月16日(土)・17日(日)

蛙鳴祭一般公開に向け、準備中！

テーマは #共鳴 ～Break the Limit～

同窓生の皆さま、今年も蛙鳴祭の季節となりました。昨年度は保護者の方を対象に、3年ぶりの蛙鳴祭を開催することができました。校内は久しぶりの活気に溢れ、大いに盛り上がっていました。

そして今年度は、来場制限は行わず、お越し頂ける全ての方をお招きしての蛙鳴祭の開催に向けて準備を進めています。笑いあり、感動あり、温かい料理ありの蛙鳴祭を、どうぞお楽しみください。

なお、今年度の蛙鳴祭にお越し頂く際には、特設 HP (本校 HP にリンクを掲載) より、事前予約をお願いする予定です。入場時の混雑緩和や、蛙鳴祭実行委員会からのお知らせをお送りさせて頂くためのものとなりますので、ご理解の程、宜しくお願い致します。



今年度のポスター



2022年度 高校3年7組「ピーパーク」 遊具：シーソー



2022年度 蛙鳴祭実行委員作成 モニュメント

タイムカプセル

「久しぶり！」「懐かしいー！」「手紙埋めたと思ったのに、なかった…」
2010年に在籍していた29期(百済学年)・30期(須藤憲学年)・31期(大山学年)の卒業生が、12年前に埋めたタイムカプセルの手紙と懐かしい先生方・仲間にも再会しました！

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、卒業生のみみなさまに本校していただくのが難しい状況が続いていましたが、やっと卒業生のみみなさまに本校していただき、手紙を引き渡すことができました。10年後の自分、仲間に向けたメッセージを、クラスや部活の仲間とともに書いた、懐かしい日々の想い出話で盛り上がり、スマホの写真を見せながら近況報告を交わしたり、旧交を深める時間を過ごしていただくことができました。

今年の蛙鳴祭でも、手紙の引き渡しを行う予定です。詳細は学校HPをご覧ください。

■手紙の引き渡し方法

○蛙鳴祭(9/16(土)・9/17(日))

時間等の詳細は、9月以降、学校HP・同窓会HPに掲載します。

○郵送を希望される場合

同窓会HPをご確認の上、メールにてご連絡ください。引き渡し方法についてお知らせします。なお、送料はご負担いただきますこと、予めご了承ください。





2023年2月25日(土)に第37期「まほろばの会」が開催されました。これまでは先生方や同級生と共に成人(=20歳)を祝う会でしたが、今回から卒業して4年後の「22歳」に先生方や同級生に再会するという会になりました。

この22歳になる年は、ほとんどの卒業生が次の進路を決定している時期でもあり、その報告をする姿が方々でみられました。先生方も久しぶりに会う卒業生の皆さんの様子が聞けて、そして立派になった姿を見て、感慨深い様子でした。

当日は、幹事の方々が1年前から準備をしてくれたお陰で、100人以上の参加者が集まり、大いに賑わいました。

まだ先の話ですが、次は「ホームカミングデー～40歳になったら学校に来よう～」があります。その際には、これから更に色々な人生を歩んだ皆さんのストーリーをぜひ聞かせて下さい。そして、また昔話に花を咲かせましょう。

最後になりますが、忙しい中、今回のまほろばの会の準備をしてくれた幹事の皆さん、参加してくれた卒業生の皆さん、この会を楽しみに待ち、関わって下さった先生方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

教員 戸上 佳央・佐藤 高士

告知 38期生「まほろばの会」開催について

2019年度卒業

The God 学年のみんな、「いざ、獨協埼玉へ!!」

みんなと過ごす時間は、ずっと続くような気がしていた。だから、卒業後のロスト感で、しばらくは時間が止まってしまったようだった。

在学最後の行事の卒業式は、感染症の直撃で簡易な式典になってしまった。だけど覚えていますか、そのおかげで偉い肩書のある人達の祝辞は無くなり、短時間だけど、心の触れ合う最高に味わい深い卒業式が出来たことを。

中3で植えた記念樹の「やるき」「げんき」「こんき」も、高3で植えた「四方の絆」も、まだまだ成長を続けていきます、みんなと同じように。

ただ、みんなの成長の足跡を振り返ることができていないので、この「まほろばの会」で時間を取り戻すのが、超楽しみです。ずいぶん学年の先生も本校を去ってしまいましたが、そちらにも力強く「いざ!!」をかけて、全力でみんなを待っています。

学年主任 佐藤 敦



2016年度 中学第3学年教員



2019年度 高校第3学年教員

第26回 同窓会総会

【今年も動画公開となりました】

新型コロナウイルス感染拡大が収まらない状況を鑑みて、3年連続となりますが、今年度もやむなく同窓会 HP にて動画公開の形式で行うことになりました。8月10日（木）より、「校長挨拶」「同窓会会長挨拶」「会計・会計監査報告」の動画を9月18日（月）の学校祭最終日まで公開いたします。

同窓会 HP <http://www.dokkyo-saitama.com/>

※獨協埼玉中学高等学校 HP からリンクが貼ってあります。

■決算・予算報告

令和4年度 同窓会決算書

R4年4月1日～R5年3月31日

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---------|------------|-----------------|------------|
| 前年度繰越金 | 36,877,638 | 次年度繰越金 | 38,236,693 |
| 終身会費卒業生 | 3,040,000 | 会報費 | 1,169,246 |
| 4年度懇親会費 | 0 | 幹事会費 | 20,000 |
| 利息 | 191 | 慶弔費（花束） | 2,000 |
| | | 同窓会データメンテナンス代 | 29,150 |
| | | 卒業証書フォルダー | 404,320 |
| | | HP 関連 | 24,000 |
| | | 娃唄祭パンフレット、ポスター代 | 30,000 |
| | | 振込手数料 | 2,420 |
| 収入計 | 39,917,829 | 支出計 | 39,917,829 |

令和5年度 同窓会予算（案）

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-----------|------------|-----------------|------------|
| 42期生 終身会費 | 3,020,000 | 会報費 | 1,400,000 |
| 総会・懇親会費 | 0 | 幹事会費 | 30,000 |
| R4年度より繰越金 | 36,877,638 | 慶弔費（花束） | 30,000 |
| | | 卒業アルバム保管用 | 10,000 |
| | | 企画費 | 500,000 |
| | | 同窓会データメンテナンス代 | 30,000 |
| | | 卒業証書フォルダー | 450,000 |
| | | HP 関連 | 25,000 |
| | | 娃唄祭パンフレット、ポスター代 | 30,000 |
| | | 予備費 | 37,392,638 |
| 収入計 | 39,897,638 | 支出計 | 39,897,638 |

教育実習を終えて



●高瀬 夏帆

私はこの三週間の教育実習で多くのことを学ばせていただきました。特に教材研究の重要性、また生徒との関わりについてです。

教材研究については、ただ教科書に記載されていることを生徒に伝えるのではなく、教科書に記載されている内容をどうかみ砕いて分かりやすく伝えるのか、そこに書かれていることを教える意義は何なのかについてまで研究する必要があることに気が付くことができました。

また生徒との関わりについては、自分から積極的に関わっていくことではじめて生徒との信頼関係を築くことができるということに気が付けました。

このように今回の教育実習で得た多くの学びを、将来教師となった時に活かせればと思っています。多くのご指導をいただき、

本当にありがとうございました。

●落合 美智

教育実習は、学びに溢れた3週間でした。生徒との関わりから一人一人と真摯に向き合うことで信頼関係が出来ることを強く感じました。また、教科指導では、分かりやすく興味深い授業づくりの難しさを感じるとともに、その実現には入念な教材研究や授業準備が不可欠であると学びました。

これらの経験は、先生方のご指導や生徒の皆さんによるものであり、感謝の気持ちでいっぱいです。この実習での学びを大切に、今後も将来へ向けて努力を続けたいと思います。

●真中 丈徳

母校での3週間の教育実習は、私に数多くの気づきを与えてくれました。中でも、「授業の構成・授業内アクティビティの意図・発問のタイミング」など、生徒として授業を受けていた頃には考えもしなかったほど、授業は緻密に練られているということを知りました。そして教壇実習を通して、生徒との関わり方の難しさや、授業を作る上でさまざまな改善点を見つけることができました。

この教育実習での経験を活かし、教育者としてより大きな成長を遂げたいと思います。3週間、教育実習生として受け入れていただきありがとうございました。今後もさらに精進して参ります。

INFORMATION

中学入試

- ◆募集 男女 160 名
- ◆学校説明会
 - 第1回 9月24日(日) 10:00～
 - 第2回 10月22日(日) 10:00～
 - 第3回 11月19日(日) 10:00～
 - 第4回 12月17日(日) 10:00～
- ◆入試
 - 第1回 1月11日(木)
 - 第2回 1月12日(金)
 - 第3回 1月17日(水)

※第1回は本校と武蔵浦和会場の2会場で実施



入試

高校入試

- ◆募集 男女 160 名
- ◆学校説明会
 - 第1回 9月24日(日) 13:30～
 - 第2回 10月22日(日) 13:30～
 - 第3回 11月19日(日) 13:30～
 - 第4回 12月17日(日) 13:30～
- ◆入試
 - 単願・第1回併願 1月22日(日)
 - 第2回併願 1月23日(火)



同窓会役員人事紹介 (括弧内数字は卒業期)

| | | | | | | |
|--------------|------------|------------|--------------|------------|------------|------------|
| 理事 | 小久保博史 (6) | 正岡 祥樹 (26) | 青木みさと (37) | 井出 悦央 (39) | 齋藤日南子 (40) | 尾花 大成 (41) |
| 会長 | 酒井 直樹 (7) | 山田敬二郎 (26) | 常盤 知里 (37) | 岸田安寿香 (39) | 野口 葉月 (40) | 田村 綾菜 (41) |
| 玉山 栄一 (1) | 青木 美樹 (7) | 武内 保香 (26) | 丸田 航輝 (37) | 西山 真綺 (39) | 鬼塚 遥大 (40) | 横山 心海 (41) |
| 副会長 | 瀬戸てるみ (8) | 戸上 佳央 (27) | 多ヶ谷直央 (37) | 越谷 幸輝 (39) | 石川 碧嶺 (40) | 大川 紗輝 (41) |
| 永島 健次 (3) | 布施 崇 (10) | 市原 泉岐 (27) | イクバルムミト (37) | 横山 大智 (39) | 高橋 希 (40) | 光澤 知優 (41) |
| 櫻井 広仁 (13) | 岡崎 陽子 (10) | 安蒜 慶恭 (27) | 他1名 | 山田 紗英 (39) | 齋藤 好華 (40) | 青木 政磨 (41) |
| 会計 | 成瀬 博文 (10) | 高橋 知美 (27) | 井上 椋誠 (38) | 宮村 朱葵 (39) | 小島 咲良 (40) | 村山 航平 (41) |
| 岩田 寛史 (17) | 東原 宣之 (11) | 荻野 克真 (27) | 須賀 友亮 (38) | 大澤 萌音 (39) | 宮内 杏璃 (40) | 萬代 晃気 (41) |
| 鈴木 大州 (23) | 竹内 友洋 (13) | 板倉 晃希 (28) | 新出 紗也 (38) | 勝田 結 (39) | 渡邊 陽向 (40) | 北条 志穂 (41) |
| 会計監査 | 細川 威 (14) | 芳賀 大輝 (28) | 中野 叶大 (38) | 山田 紗英 (39) | 久野 優芽 (40) | 長田 武蔵 (41) |
| 友野 行晴 (1) | 深瀬 和之 (16) | 加美山紘子 (29) | 高瀬 夏帆 (38) | 橋本 幹大 (39) | 池野真菜美 (40) | 藤村 航太 (41) |
| 戸上 佳央 (27) | 仲田 英起 (17) | 中前 千佳 (29) | 横川 詩恵 (38) | 宇田川夏葵 (40) | 岩田 晃奈 (40) | 浅見 響 (41) |
| 事務局 | 松本めぐみ (18) | 山科 勇士 (30) | 濱田 真央 (38) | 佐藤 友輝 (40) | 西野 泰生 (41) | 日原 翼 (41) |
| 事務局長 | 関 淳一郎 (18) | 柳沼 彬 (30) | 平山 瑛 (38) | 安野 友菜 (40) | 宮村 月葵 (41) | 他1名 |
| 小平 茂 (5) | 坂本 育美 (18) | 渡部 聖人 (31) | 柧本 心愛 (38) | 河本 采己 (40) | 田多 彩夏 (41) | |
| 事務局総務 | 織田 恵理 (19) | 石田えみり (33) | 長谷川折芽 (38) | 山崎 優斗 (40) | 大塚 悠真 (41) | |
| 高田 晶子 (10) | 梨本 佳世 (19) | 奥山 浩基 (35) | 藤田 真愛 (38) | 田中 駿輝 (40) | 野崎 凜 (41) | |
| 幹事 | 有光 真織 (20) | 多ヶ谷美生 (35) | 他1名 | 嶺井 愛瑠 (40) | 一柳 凜花 (41) | |
| 片桐 岳信 (1) | 武井みどり (20) | 島村 巴菜 (36) | 石塚 大雅 (39) | 坂口 友理 (40) | 細井めぐみ (41) | |
| 小野 岳二 (2) | 佐藤 高士 (21) | 小島 瑞生 (36) | 濱田 真央 (39) | 小林 尚生 (40) | 佐藤 円 (41) | |

同窓会からお願い

- ①同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。
- ②住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。
- ③同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取得させていただいた皆様の個人情報を適切に保護し、会報、同窓会が主催協力する行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの補完のための情報提供に、これらの情報を利用します。
※なお、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届けください。
※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を聞き出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。

獨協埼玉高校
同窓会連絡先

〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316 TEL048-977-5441 FAX048-977-2031
事務局 (koda@dokkyo-saitama.ed.jp) URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

コロナ禍で失われた縁を取り戻す、 18期ホームカミングデー



令和4年10月15日に18期のホームカミングデーを開催しました。ホームカミングデーは16期の開催を最後に、新型コロナウイルス感染症流行禍で開催が出来ず約二年半ぶり、18期としては一年延期、会食無しでの開催となりました。同感染症流行は繰り返しており、開催しても集まらないのではないか、という不安を感じながら準備を開始しました。

在学中はPHSから携帯電話への移行期で、SNSどころか、メールアドレスも定着しておらず、先ずはどのように開催を伝達するか、が大きな課題でした。LINEオープンチャットでグループを開設し、会報で登録案内を促しましたが順調ではなく、学級・部活・様々な繋がりへ向け周知をお願いしました。当時の先生方も大半が退職

されており、連絡手段が在動中の小平「教頭」先生頼りとなり、先生の協力を受け、一丸となって開催準備を進めていきました。

当日は高校棟の食堂に集まり、36名とこじんまりではありましたが、秋晴れの母校で、担任、級友と懐かしの時間を過ごしました。また、一部時間をZOOMで共催とし、来校できなかった方にも配信という形で繋ぐことが出来ました。開催後、開設したオープンチャットグループは継続し、学級同窓会を開催したという報告も受けています。卒業後、改めて繋がったこの縁が途絶えることなく、50代、60代の節目では、全員参加の同窓会が開催出来ればなあ、と感じています。

(18期 関 淳一郎)

告知 ホームカミングデー

コロナ禍の影響により17期、19期のホームカミングデーを延期しておりましたが、本年度実施いたします。本年は、40歳になる20期と合わせまして、17期、19期、20期のホームカミングを合同で実施いたします。よろしくお願い申し上げます。



17期



19期



20期

獨協埼玉 リニューアル

制服

快適な学校生活を送れるよう、多様性に配慮したスラックスとネクタイが中学制服・高校制服どちらにも追加されています。また、略装期間に着用できる白と紺の各ポロシャツも追加されています。



HP



学校HPがリニューアルされています。学校紹介動画、部活動紹介・表彰など、より多くの情報が得られる形となりました。

また、学校公式 Twitter では中学・高校それぞれの広報係が、生徒目線で学校の様子を紹介しています。

母校の今を、時折、同窓生の皆さまに、気にかけていただけたら幸いです。